

【CL名】久保さん 【解答者】アオちゃん 【作成日】2023年11月10日 【作成時間】40分

設問

【問い1】今ならどのような質問ができるか。

- ・差し支えなければ、定年退職後に雇用延長をされたときのお話について伺ってもよろしいでしょうか？
- ・「雇用延長後は事務でもやってみよう」と聞いていたと仰いましたが、それを聞いたときどう思われました？
- ・肉体的、精神的にきつい中で、バスの運転手をされてまたご自身を振り返ってどう思われますか？
- ・「それ(更新の時期)を悩んでいるとは言ほいたけれど」と仰いましたが、奥様は何と仰いましたか？
- ・「当初聞いていた話と違う」と繰返して仰っていますが、会社に何か思われることはありますか？
- ・「会社の事情も分かるんですけど」と仰いましたが、会社の事情とはどういったものなのでしょう？

【問い2】良かった点と悪かった点 (各2行)

事例IのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由: 子どものころからバスの運転手に憧れていたことや別の仕事をしながら苦学して免許を取ったことなど、現在のお仕事に対する思いを伺うことでき、信頼関係の構築できつつある点

事例IIのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由: 雇用延長をされたときに会社の方と話し合いなどは伺えたが、その話に対して当時どう思っていたかやなぜ雇用延長することにしたのかについて伺えなかったのが悪かった点

【問い3】クライアントの主訴

子供のころからバスの運転手に憧れ、30歳くらいでがんばって免許を取ってからバスの運転手をしていた。定年退職後の雇用延長の時には事務作業をやってみようと思っていたが、今までと同じ仕事で話が違うと感じている。バスの運転手は腰が痛く、乗客の命を預かるというプレッシャーもあり、肉体的・精神的にしんどい。運送業界では2024年問題もあり、会社の事情も分かるが、(中)寄せは甚か弊してほしい。嘱託職員は1年ごとの更新であり、今度更新があるかどうか悩んでいる。

【問い4】今後の展開 (どのように進めるか)

肉体的・精神的にしんどいながらも仕事を続けていらっしゃる相談者を労い、引き続き信頼関係の構築に努める。今の仕事を続けるかの判断基準となる価値観を明確にするため、セカンドキャリアを構築するうえで何を大切にしたいかについて内省を促し、自己理解を深めていただく。また、雇用延長後の仕事内容や働き方について、会社の方と十分にお話ができていないように見受けられたため、上司や人事部などと面談の機会を提案し、コミュニケーション不足を解消することにより、相談者がご自身のセカンドキャリアについて主体的な意思決定ができるよう支援する。